

甲武信岳へ雁坂峠

実施日 二〇〇七年九月二日～三日(十日)

天候 晴れ、翌日曇り

リーダー 吉田正之

参加者 友近洋子、吉田正之、服部美千代、馬場清士

計 4名

費用 電車 新宿へ塩山4,800円。タクシー 塩山駅へ

西沢溪谷 1,500円。バス 新地平へ塩山駅

940円 交通費 計7,240円

宿泊費(1泊2食) 7,500円

費用計 14,740円

コースタイム 1日目 塩山駅(八時五三分)～九時タクシー(西沢溪

谷入り口(九時三〇分)～三五分(登山口(一〇時

昼食(十一時三〇分)～五〇分)1,869m地点

(十二時五〇分)木賊山(十五時十五分)～二五分

甲武信小屋(十五時四十五分)泊

2日目 甲武信小屋(六時)甲武信岳(六時二〇分)～

三五分)甲武信小屋(六時五〇分)～七時)

西破風山(八時五〇分)～九時)東破風山

(九時二〇分)～二五分)雁坂嶺(九時五〇

分)～十時)雁坂峠(十時二十五分)～四五分

峠沢出合(十一時二〇分)～四五分(昼食ク

ツキリ沢出合(十二時二〇分)沓切沢橋

(十二時五〇分)～五五分)雁坂峠入り口

(十三時三五分)新地平バス停(十三時五

五分)～十四時二十八分)バス 塩山駅(十五時

二五分)～四〇分)

塩山駅からタクシーで

西沢溪谷入り口まで入り、西沢山荘横の

登山口から戸渡尾根に取り付き 徳ちゃん新道を登る。左にトサカ状の岩稜の鶏冠山を見ながら、樹林の中を標高差 1300mの急坂をただひたすら登る。近丸新道との合流点を過ぎ、厳しい5時間の急登で 木賊山に到達。はるかに広瀬湖が見下ろせる。ここから20分の下りで甲武信小屋に到着。小屋の外でビールタイム。夕食後、難コースで知られる東沢溪谷釜の沢遡行のビデオを小屋のオーナー山中徳治氏の解説で観賞。



翌朝、小屋を6時に出て20分で甲武信岳頂上。生憎曇り空で金峰山、国師岳、黒金山などは真近に眺められるが、富士山は雲の向う。甲武信岳は東京湾への荒川、太平洋への笛吹き川、富士川、日本海への千曲川、信濃川の源流を持つ分水嶺。小屋に戻り、雁坂峠に向かつて奥秩父縦走路を辿る。木賊山を巻き、笹平非難小屋を覗き、西破風山の急坂が厳しい。ナナカマドが赤く色づき始め秋の気配。立ち枯れの木が目立つ。ハイカーも多い。さらに東破風山から雁坂嶺を越え、雁坂峠へ。三伏峠、針の

木峠と日本三峠といわれる。山梨県側は明るいカヤトの原となっており、トリカブトなどの花が咲いている。峠沢出合で水しぶきを浴びながら昼食。沢沿いの道となりクツキリ沢出合から左岸に涉り、ナメラ沢出合を過ぎて、沓切沢橋からは 雁坂トンネル工事の名残のアスファルトの林道歩きとなり、雁坂峠入り口で国道に出る。バスに乗る頃雨となった。秋色の中、こぶし会ゆかりの山を訪ねた歩き甲斐のある山行でした。ありがとうございました。お疲れ様でした。



(記・吉田 正之)